

街角には郷愁が漂う

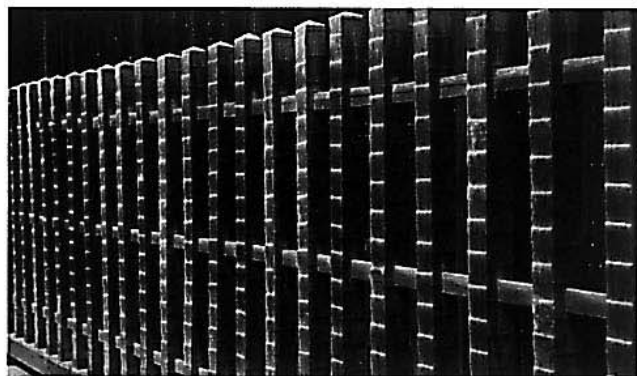
シリーズ
街並み
再見
2

穴虫(二上)の小道を歩く

◆ 古い家々の意匠に
楽しさを発見しながら

近鉄大阪線の二上駅。駅は逢坂と穴虫の境辺りに位置しています。駅の北はまだ多くのたんぼが残り、田園風景が広がっています。

駅前には自転車が並び、現代的なコンビニエンスストアがあります。そんな中に派手な清涼飲料水の自動販売機がつくねんと古い家の軒下にあるのが、奇妙に印象的です。昔ながらの街並みが残る穴虫(二上)の風景の象徴かも知れないと思いつきながら歩き始めました。道は狭く、家々が寄せ合うよう

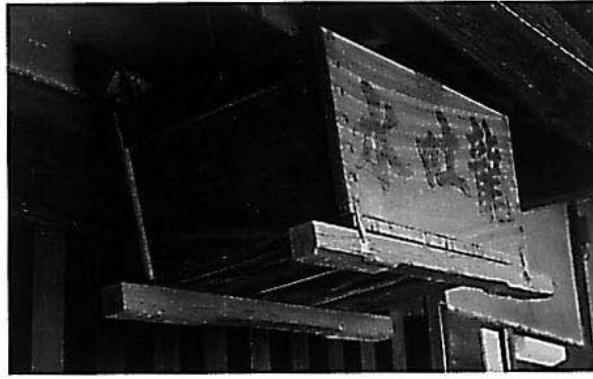


に並んでいます。車一台がやっとという道は、昔からの集落の名残なのでしょう。犬夜来、植え込み、虫籠窓、七福神などがきれいにそろった民家があります。この一角にたたずむと時間が止まったような思いにとらわれてきます。

道に面する塀や垣根を見ていると、なかなか楽しいものがあります。立木の枝がまるで首を出すように伸びているので、塀をへすつてある家、頭上高く垣根を塀の形に面取りしてある家、また松が伸びてそれが門構えとなっている家、それぞれに植木の見本市のようにバリエーションがあるようです。垣根の下の石垣もカラフルなものから、モザイク模様といういろいろです。中には水抜きが形がとても変

わって、工夫してある家もありま
す。水抜き一つとっても、その家
の主張が見られるようで楽しいで
すね。

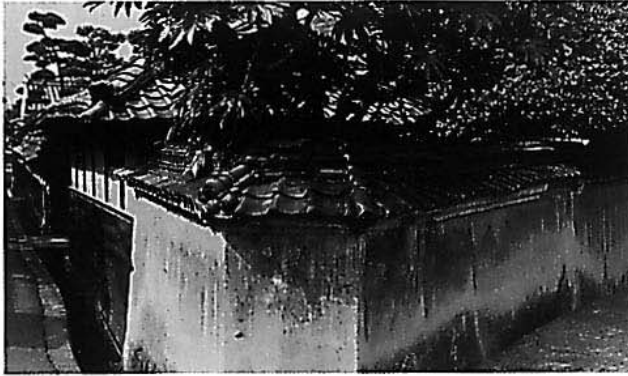
やがて道は三差路に至りました。
木造の建物の突き当たりの部分に
は、屋根形の付いたお知らせ板の
ようなものがありました。この辺
り、向かい合う家がいずれも古く
大きな家で、重々しい風格が感じ
られます。



そのうちの一軒には軒下に、大
変めずらしいものを見ました。い
わゆる昔の消防ポンプの龍吐水で
す。まだまだ藁葺きの屋根がある
この辺り、昔の人々は火災に対し
ては、相当に神経を使ったことで
しょう。軒下に吊り下げられた龍
吐水からは、火事に対する用心深
さを見る思いがしました。

◆池を巡り小道をたどって 大師堂へ

穴虫(二上)の辺りは昔から香芝
の特産である金剛砂を採掘する家
が多かったといえます。今も少な
くはなりましたが、金剛砂を扱う
会社が二上駅から南の方へ行った
所にあります。かつて穴虫の中央
を流れる竹田川沿いのたんぼでは、
この金剛砂の採掘が見られたそう
ですが、残念ながら今ではその採
掘風景も見られなくなっています。

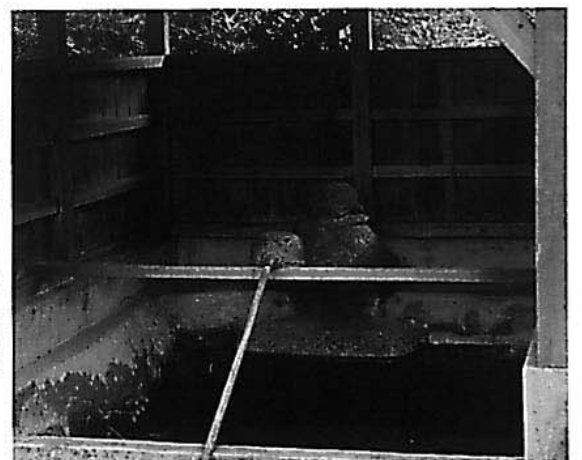


お屋敷街のような古い民家の立
ち並ぶ一角から水音に導かれるよ
うに小道をたどります。すると家
々のはずれに出て、土手を上って
みると池に出ました。自然の景趣

豊かなヤブツ池でした。水面には
水草が浮かび、向こうの岸際には
葦が生えています。木々が影を落
として背後には、二上山の山
姿がそびえるように見えています。
このヤブツ池の北側にはうっそ
うとした山がありますが、ここが
ゴボ山と呼ばれ、そこから江戸時
代に貴重な文化財が出土していま
す。威奈真人大村の蔵骨器といひ、
古代の遺骨を入れた容器です。現
在は国宝に指定され京都国立博物
館に保管されています。

ヤブツ池を回るように道はつい
て穴虫西の集落へと続いていま
す。そこから右手へ折れて坂を上
り、さらに右手へとたどります。
辺りはうっそうとした竹林、そし
て道が下りへとかかっているから杉
林と変わります。この辺は香芝市
内とは思えない静けさで、さなが
ら山中のよう。山の気配も濃く、
湿気のある空気が辺りに漂いま
す。道はしばらく下り気味で、ふい
に小さな池が目の前に現れました。
なおも道を下っていくと、民家が
現れ、その横にこんこんと水がわ
き出る井戸がありました。隣には
古い大師堂。

井戸は弘法大師が掘ったといわ
れる伝説が伝わる井戸で、昔はこ
の水を使って炊事や洗濯などをし
ていたと近くにいたおじいさんは
語ってくれました。そういえば洗
い場らしい石畳もあります。



そっと井戸をのぞくと、波紋が
起こりました。魚がいたのです。
数匹の金魚のような魚が泳いでい
て、底にはドンコのようなものま
でいました。水はたえず湧き出
ているようで、この場所が谷間にあ
るのがよく分かります。灯籠の笠
の部分のような石が井戸頭に飾っ
てありました。何か水に感謝する
目印なのかも知れません。

井戸と大師堂に別れを告げてか
ら、民家の間を少し行くと、左手
に穴虫・大坂山口神社があります。
社殿まで急な石段が続く、背後は
薄暗いほどに木々に包まれていま
す。この神社は古くから相撲の神
様として知られていたそうです。
神社から民家の間を歩いて二上
駅へはすぐ。まだまだ自然が残さ
れていると感じた穴虫(二上)の街
並み再見でした。